図書館へ行こう！

開館時間 ㈫～㈮ ▶ 9 時～17時　■問い合わせ
㈯・㈰ ▶ 9 時～16時　多久市立図書館　☎75－2233
休館日　月曜日、図書整理日、祝日、年末年始

［おすすめの新着本］

みいちゃんの
ブラウスについていた
赤いぼたんの物語

ぼたんちゃん

作/絵・さかい　まり
（ひさかたチャイルド）

いろいろな服からはずれてしまったぼたんは、お母さんの裁縫箱の引き出しにいっぱい。みいちゃんのブラウスから落ちてしまった赤いぼたんは、引き出しのぼたんの仲間入りをします。ぼたんたちが語る思い出があたたかな気持ちになるお話です。

古くなった道具たちに
待っていた幸せな結末

しゃもじいさん

作・かとう　まふみ
（あかね書房）

古くなったしゃもじのしゃもじいさんは、旅に出ます。かけたお茶碗、しみだらけの椅子、とってがこげた鍋などに出会って、古くなり使われなくなった道具たちと、自分たちを使ってくれそうな所を探すことにします。最後の道具たちのにこにこ顔がうれしくなる絵本です。

五十代にさしかかった
５人の幸せへの第１歩

55歳からの ハローライフ

作・村上　龍
（幻冬舎）

人生の岐路に差し掛かった五十代。様々な不安を抱えつつも新しい一歩を踏み出そうとする人々の物語。自分自身もしくは、身近な誰かの身のまわりに起こるかもしれない出来事を、リアルに描き出した１冊です。村上龍さんの最新連作中編小説です。

［その他おすすめの本］

一般向き

- ◆春はそこまで（志川　節子）
- ◆残り全部バケーション（伊坂　幸太郎）
- ◆名もなき花の（吉永　南央）
- ◆くちびるに歌を（中田　永一）
- ◆朝日キーワード就職２０１４（朝日新聞社）

児童向き

- ◆きかんしゃがとおるよ（ワイスガード、マクドナルド）
- ◆もうすぐもうすぐ（岡田　千晶、おかだ　こう）
- ◆グレッグのダメ日記（キニー）
- ◆NO.6　beyond（あさの　あつこ）
- ◆しちどぎつね（たじま　ゆきひこ）

［３月の休館日］

２日㈯、３日㈰、４日㈪、
11日㈪、18日㈪、
20日（水・祝）、25日㈪

※２日、３日は全館停電のため臨時休館します。
３月１日㈮17時から４日㈪まで、電気工事のために図書館のホームページは利用できません。
ご迷惑をおかけしますがよろしくお願いします。

子育て支援施設 & 催しのご案内

児童館　☎75－6621

いずれも対象は幼児から小学生までです。

◆すこやかタイム

毎週土曜日　10時30分～、
13時30分～

- 3 / 2㈯　写真立て作り
- 3 / 9㈯　おりがみあそび
- 3 /16㈯　メルヘンタイム
- 3 /23㈯　マスコット作り
- 3 /30㈯　ロケット作り

◆母と子のサロン

毎週火曜日　10時～12時
3 /12㈫　『成長の記録』
（講師：児童厚生員）

子育て支援センター

☎75－5780（杉の子保育園内）

◆子育てクラブ「わくわくランド」

日時　毎週木曜（祝日休み）
10時～12時
場所　多久市児童館

◆園庭開放（杉の子保育園内）

日時　月～土曜日（祝日休み）
9 時～14時

◆子育て相談（電話相談可）

日時　月～土曜日（祝日休み）
9 時～17時

人権教育 No.191　ともに生きる

「他者を理解するために」

銃声の絶えない中東とは違い、日本では文化の違いや部族、宗教・宗派間の対立で戦争になったことはない。私たちは分かりあい察し合え、皆がだいたい同じことを考えている社会で暮らしている。そこでは価値観や生活習慣などが近い親しい間でおしゃべりという会話が交わされる。一方、外国では多くの民族、人種が混在し、違いが常態化の社会。生活習慣や文化が明らかに違うので、会話より対話の必要性に迫られる。必然的に知らない人・他者との説明しあう文化が生まれ、議論や対話で折り合いをつける術が自ずと発達していく。分かりあえないところから出発するコミュニケーションと日本のようにだいたい分かりあっている間でのそれとは違う。

さて、日常的に他者が多くないムラ社会に住む私たちは言葉の吟味を経ず、「無意識」のうちに使う言葉自体が差別的になっている場合もある。例えば「悪妻」とか「良妻」という言い方があっても、「悪夫」とは言わない。「女々しい」や「雄々しい」と表現することもあり、男が一番、女は二番と刷り込まれているのかもしれない。加えて「思い込み」という厄介なものの中に根拠のない先入観や固定観念などが入っていることがある。イメージに関して脳はとても単純で、明確なイメージを思い描くことができたら自分自身がもう既にそうなっていると思い込んでしまうらしいのです。自分たちのものさしで、別の価値観を評価してしまわないように注意をしたいものです。

中央公民館長　川内丸　信吾